県かこ 兵庫県立加古川医療センター
地域医療連携ニュース
vol.117
2023年
10.11月号

発　行：兵庫県立加古川医療センター　〒675-8555 加古川市神野町神野 203 番地　http://www.kenkako.jp/
ＴＥＬ：079-497-7000(代表)　ＴＥＬ：079-497-7011(地域医療連携部直通)　ＦＡＸ：079-438-3756(地域医療連携部直通)

もくじ

- 栄養管理課 …… 1
- 放射線科 …… 2
- 皮膚科 …… 3
- 消化器内科 …… 4
- 形成外科 …… 5
- 総合内科 …… 6
- 検査部 …… 7
- 外来診療表 …… 8

栄養管理課

栄養管理課は、管理栄養士８名・栄養士１名・事務員１名・調理員 14 名・給食受託会社職員 18 名で、入院患者さんの食事の提供、入院・外来患者さんへの栄養管理・栄養指導、ＮＳＴや褥瘡・緩和ケア・認知症・生活習慣病センター各種病態チームに参画しています。

■ 食事の提供

入院中の食事は、楽しみであり、食べていただくことで治療となり、退院後の食生活の見本になるよう、病状に応じた味付けや食形態の調整、アレルギーや嗜好に配慮しています。旬の食材やメニュー、行事食、入院中にお誕生日を迎える方には、お誕生日デザートを提供しています。

また、おすすめ病院食レシピを年４回発行。病棟や外来、ホームページに掲載し、家庭での食事づくりの参考になればと思っています。

病院食レシピの作成

◎食形態の変化

■ 栄養管理

特別な栄養管理が必要な患者さんについて栄養状態、身体状態を把握し、栄養管理計画書を作成、定期的に評価をし、必要によってＮＳＴ介入を行っています。

退院時には、介護施設や訪問看護ステーションに向けた栄養サマリーを作成し情報提供に努めています。

■ 栄養指導

入院及び外来患者さんに個別栄養指導、糖尿病教育入院で集団指導を実施、外来化学療法室での栄養指導では、治療により食欲が減退した患者さん等の栄養面、嗜好面に配慮した指導を行っています。

また、生活習慣病センターの各種患者教室「糖尿病」「肝臓病」「生活習慣病」「腎臓病」などで栄養知識の普及と啓発を推進しています。

放射線科

副院長兼放射線科 IVR 科部長・緩和ケア内科部長　**酒井英郎**

がんによる痛みなどの症状を緩和放射線治療による「緩和照射」とは？

がんの三大治療の一つ、「放射線治療」。放射線治療の治療目的は、大きく「がんを治すために行う“根治照射（根治的放射線治療）”」と「痛みなどのがんによる症状を和らげるために行う“緩和照射（緩和的放射線治療）”」の二つがあります。放射線治療は緩和治療としても用いられることから、「緩和ケアの段階＝終末期に行う治療」といった印象を持たれている方も少なくありませんが、終末期に限らず様々な段階で治療が行われています。その中で「緩和照射」は患者様の QOL（生活の質）向上に効果が期待できますが、一般の認知度はあまり高くないのが現状です。

今回は、QOL 向上に重要な「緩和照射」についてご紹介します。

緩和照射とは、がんによる苦痛を伴う症状を緩和する

緩和照射とは、がんの進行によって引き起こされる、苦痛を伴うさまざまな症状を緩和する目的で行われる放射線治療です。進行したがんやほかの部位に転移したがんが対象となります。

緩和照射により、改善が期待できる症状

- 脳転移による頭痛や嘔気・嘔吐などの神経障害の緩和
- 骨転移による疼痛の緩和
- がんによる出血の止血
- がんによる麻痺・痺れなどの神経障害の緩和
- がんによる気道の狭窄・閉塞（呼吸困難等）の緩和
- がんによる消化管の狭窄・閉塞（飲み込み困難等）の緩和
- 緩和照射：がんによる苦痛を伴う症状を緩和する

緩和照射の目的・メリットを知る

緩和照射の主な目的は、がんによる症状を抑え、患者さんの生活の質（QOL）を向上させることにあります。そのため、がん治療を続けるためには、生活の質（QOL）を保つことが非常に重要となります。その中で緩和照射は、さまざまな症状の緩和が期待でき、大きな役割を果たしています。

このように、緩和照射により苦痛や日常生活の支障となるがんを治療することで、副作用の軽減や生活の質（QOL）を向上させ、治療を続けられるようにすることが、緩和照射の大きな役割といえます。

皮膚科

皮膚科医長　**川田裕味子**

今年５月にコロナが５類感染症へ移行し、コロナ禍以前の診療体制に戻っています。より一層、皮膚科の基幹病院としての役割を果たしていきたいと、日々診療にあたっています。

■ 当科の特徴

・アレルギー疾患、薬疹、水疱症や脱毛症・アトピー性皮膚炎・乾癬などの炎症性疾患、皮膚軟部組織感染症、皮膚悪性腫瘍、と多岐にわたる皮膚疾患に対応しております。
・東播磨のみならず播磨全域から、皮膚科だけではなく内科や歯科など他科からも、非常に多くのご紹介をいただいております。
・入院を要する重症例や緊急性の高い皮膚疾患にも積極的に対応しております。
・皮膚科は診断学と言われています。皮膚病理をはじめとして、治療の前提となる診断にも力を入れています。

■ 当科からのお知らせ

近年、生物学的製剤や JAK 阻害薬など新規薬剤が毎年のように登場し、皮膚科領域の治療は飛躍的に進歩しました。長年改善がなく治療をあきらめていた難治性の乾癬やアトピー性皮膚炎や円形脱毛症の患者さんにとって、希望をもって治療に臨んでいただける時代になってきました。そのような患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。また、新規治療だけではなく、紫外線治療など従来からの治療も引き続き行っており、個々の患者さんに最適な治療を提供できるよう努めてまいります。

■ スタッフ

川田　裕味子	皮膚科医長	平成 16 年卒
増田　泰之	皮膚科医長	平成 26 年卒
山田　はるひ	皮膚科医長	平成 28 年卒
熊谷　　淳	皮膚科医長	平成 29 年卒
廣田　一貴	皮膚科専攻医	令和　2 年卒
足立　厚子	非常勤勤務	昭和 54 年卒

■ 研究会のご案内

加古川医師会に共催いただき、毎年２回の東播磨皮膚科研究会を当院講堂で主催しています。今年度は 10 月１９日と 2024 年１月 25 日に開催しますので、多数のご参加をお待ちしております。

消化器内科

副院長兼消化器内科部長　**廣畑成也**

特色

現在常勤スタッフ 8 名、専攻医 1 名で診療を行っています。4 月より神戸大学肝グループより安冨 栄一郎先生がスタッフとして加わりました。

● 肝癌の治療法が大きく変化しています

当院は兵庫県肝疾患専門医療機関に指定され、東播磨地区の肝疾患診療の中心施設として位置づけられています。肝疾患センターを設置し、地域の先生方よりご紹介いただくあらゆる肝疾患に対応できるようにしています。また神戸大学肝グループで臨床の中心であった安冨先生が赴任し、さらにレベルの高い肝疾患診療を行っています。肝癌はアテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用療法を中心に次々に新しい全身化学療法治療薬が導入され、当科でも良好な治療成績を得ています。

●「奈良宣言」

6 月の肝臓学会で、検診などで ALT 値が「30」を超えると何らかの肝疾患が隠れている可能性がありそのような症例の原因精査が勧奨されています。とくにメタボを背景とした脂肪肝患者が増えており、放置すると肝硬変・肝癌に至る例が増えています。このような症例がございましたら遠慮なくご紹介頂ければ幸いです。

● 内視鏡による早期癌の診断と治療が進歩しています

消化管癌の早期発見、悪性度・範囲診断に欠かせない NBI 搭載内視鏡システムを 3 台常設し、常時拡大内視鏡にて精密な観察･診断を行っています。早期癌の場合、内視鏡的粘膜下層切開剥離術（ESD）で 1 週間の入院で治療可能です。緊急例を含め今後も積極的に内視鏡検査に対応してまいりますので、症例のご紹介をよろしくお願い申し上げます。

● 超音波内視鏡検査が充実しました

神戸大学の協力で超音波内視鏡検査の件数が大幅に増加しました。また超音波内視鏡下生検も積極的に行い膵腫瘍や胃粘膜下腫瘍の正確な診断が可能となりました。

●「当日胃カメラ枠」

上部内視鏡検査をお急ぎの時にご利用いただいていた「当日胃カメラ枠」をコロナ収束により再開しています。地域連携室を通じて予約可能ですのでご利用よろしくお願い申し上げます。

＜地域医療機関の先生方へ＞

5 月以降、コロナ禍以前の診療機能を取り戻しています。今後とも、緊急例、診断困難例はもちろん、検査のみのご要望でも積極的に対応してまいりますので、ご遠慮なくご紹介いただければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

■ スタッフ紹介

尹　聖哲	副院長兼肝疾患センター長兼消化器内科部長	昭和57年卒
廣畑成也	副院長（診療担当）兼消化器内科部長	昭和60年卒
埼本喜雄	部長（内視鏡・超音波担当）兼内視鏡センター長兼消化器内科部長	平成 6年卒
田村　勇	消化器内科部長	平成14年卒
白川　裕	消化器内科医長	平成18年卒
安冨栄一郎	消化器内科医長	平成21年卒
岡田寛史	消化器内科医長	平成25年卒
渡部貴文	消化器内科医長	平成27年卒
森井惇詞	消化器内科専攻医	平成31年卒

■ 検査・治療実績（2022 年度）

上部消化管内視鏡検査	2576
緊急内視鏡（止血術含む）	73
緊急止血術	76
食道静脈瘤治療（EVL･EIS）	32
内視鏡的粘膜下層切開剥離術（ESD）	63
胃瘻造設術（PEG）	14
下部消化管内視鏡検査	1496
止血術	30
ポリープ切除術（EMR＆ポリペク）	444
内視鏡的粘膜下層切開剥離術（ESD）	34
ERCP	172
胆道ドレナージ（ERBD/ENBD）	73
胆管結石砕石･除石術	71
EUS	101
EUS-FNA	13
小腸カプセル内視鏡	10
腹部超音波検査	3346
造影腹部超音波検査	42
肝生検	42
肝炎抗ウイルス療法新規導入	15
経皮的肝ラジオ波焼灼術（RFA）	25
経カテーテル的肝動脈塞栓療法	46
肝癌化学療法導入	20

形成外科

形成外科部長　**櫻井　敦**

あなたのそばに・・・
形成外科です。

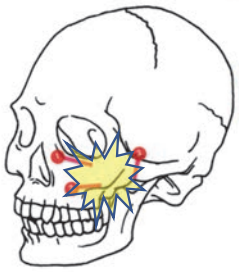
すりきず

やけど

きりきず

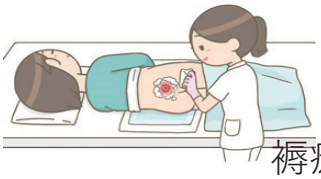
まぶた

眼瞼下垂、逆睫毛など



こっせつ

鼻骨、頬骨、顎骨骨折など

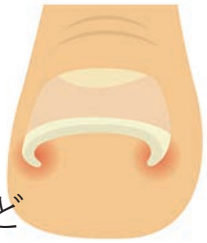


とこずれ

褥瘡、難治性潰瘍など

つめ

巻き爪、
陥入爪など



形成外科（けいせいげか）では、ほかにも様々な疾患を扱います。「キズあと」まで考えた治療を心掛けていますので、お気軽に受診してください。

日本形成外科学会　公式キャラクター
キズを治す妖精「なおるん」

総合内科

総合内科主任部長　**中村幸子**

■ その特色と本年度の総合内科

総合内科は、内科の一部門として、発熱などの一般的な内科的症状のある患者様への救急対応、内科のどの診療科に紹介すればよいかわからない患者様の窓口としての機能、複数の内科疾患を持つ患者様への対応をしています。

当院の内科は、消化器、循環器、糖尿病・内分泌、腎臓、神経、リウマチ・膠原病、緩和と専門科が分かれており、より専門性の高い治療や検査を必要とする際には、専門医と連携し、適切な診断、治療を行います。（図１）

（図１）

■ 地域医療機関の先生方へ

内科の各専門領域にあてはまらず、一般内科的な診療を希望される症例であれば、総合内科にご紹介ください。初診予約を頂き経過をお教え頂けると、患者様をお待たせすることなくスムーズに診療できますので、よろしくお願いします。一般内科領域での急な病状悪化や緊急入院などには、できるだけ対応させて頂きますので、ご連絡頂ければと存じます。病状が安定すれば、ひき続き先生方で継続御加療をお願いすることも多く、よろしくお願い致します。

■ 総合内科スタッフ

中村　幸子	平成 14 年卒
大北　弘幸	平成 17 年卒
藤田　泰功	平成 23 年卒
石田　育大	平成 24 年卒

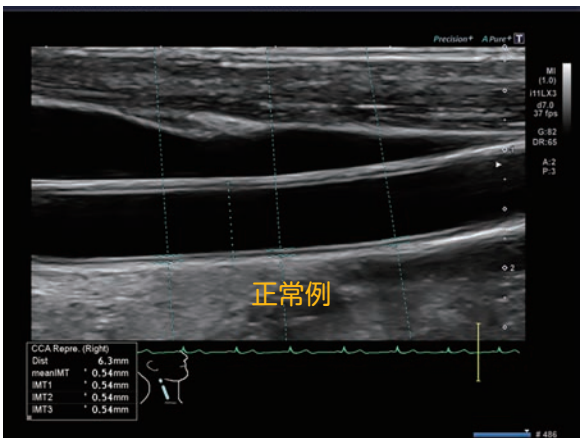
検査部

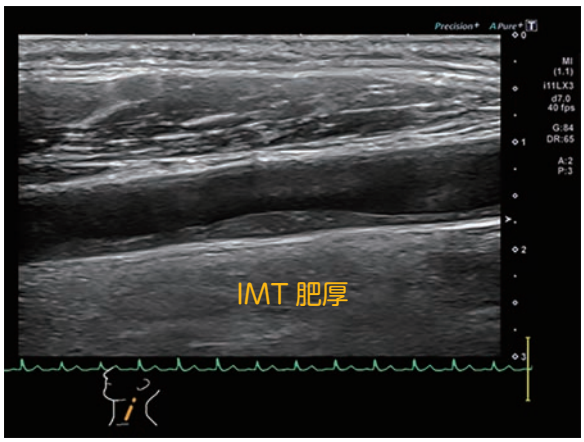
臨床検査は病気の診断や治療方針の決定、予後の推定、治療効果の評価などに必要不可欠です。検査部では 33 名の臨床検査技師が採血をはじめ検体検査や輸血・細菌・病理・生理機能など様々な検査を実施しています。また、糖尿病・肝臓病等の生活習慣病チーム、緩和ケア等のチーム医療にも携わっています。

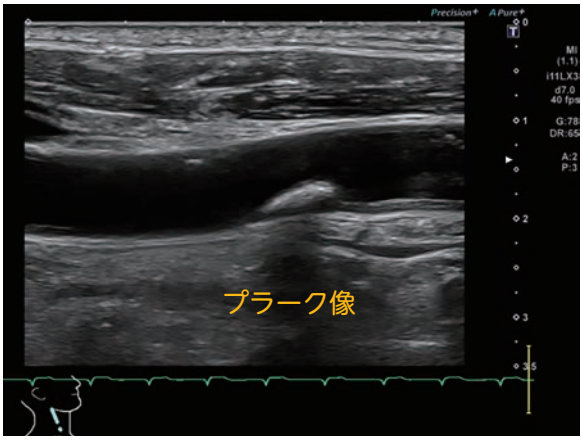
生理機能検査

生理機能検査部門では神経生理検査、睡眠時無呼吸検査 (PSG)、呼吸機能検査、超音波検査、聴力検査、血圧脈波、tcpO2 検査、SPP 検査、心電図等の検査を実施しています。今回は頸動脈エコー検査について紹介します。

頸動脈エコー検査：主に糖尿病・内分泌内科の患者様を対象に動脈硬化評価を目的とした検査を実施しています。頸動脈は動脈硬化の好発部位であるため、頸動脈における動脈硬化を評価することで全身の動脈硬化の指標になります。検査内容としては、内膜中膜複合体厚 (IMT) の肥厚の有無、プラークの有無とそれによる狭窄や閉塞の確認を行っています。特に糖尿病教育入院される患者さんには入院時に頸動脈エコーを行い、総頸動脈の IMT を計測した写真をお渡しして、生理機能検査の技師より検査結果の見方についての説明も行っています。







IMT（Intra Media Thickness）は頸動脈の『内膜中膜複合体厚』を意味し、正常値は 1.0mm以下です。1.1mm を超えると脳血管障害や虚血性心疾患の発症率が高くなるとされています。

地域の先生方へ

上記以外でも脳梗塞、めまい、顔面麻痺などの原因探索目的でも検査を実施しています。現在、頸動脈検査は予約の方優先で毎日実施していますが、当日でも検査可能です。

県立加古川医療センター外来診療表

令和５年10月２日（月）～

			月	火	水	木	金
総合内科	初診		石田	大北	藤田		中村
消化器内科	１診		垰本(さかもと)	【尹(ゆん)】(再診のみ)	田村	【尹(ゆん)】(再診のみ)	垰本(さかもと)
	２診		廣畑	岡田	廣畑	廣畑	安富(午前)岡田(午後)
	３診			渡部		白川	担当医
循環器内科	１診		福田	担当医(～14時)	岩田	担当医	岩田
	２診		【禁煙】			【ペースメーカー】	笠松
脳神経内科			下村	奥田	奥田(午前)下村(午後)		奥田
							下村(午後)
糖尿病・内分泌内科	１診		飯田	藤田	飯田	石田	樫谷
	２診			【後藤】	藤川(午前)永野(午後)		稲山(午前)安富(午後)
緩和ケア内科	入棟面談		担当医		担当医		担当医
	サポーティブケア外来(緩和ケア外来)		田中		田中		田中
生活習慣病			【尹(ゆん)】肝炎(午後)	【戎谷(えびすたに)】糖尿病・肥満	【合田】糖尿病・肥満	【西山】糖尿病・肥満	
			【福田】禁煙(午後)	装具外来			
リウマチ科	１診		中川	上藤			中川
	２診		天野	塩澤	塩澤		天野
	３診		西田	吉原	吉原	吉原	担当医
	４診		村田	西田	村田	村田	担当医
	５診		田中	リウマチ相談	田中	田中	リウマチ相談
腎臓内科	１診	午後		加藤		加藤(1, 3, 5週)	
外科・消化器外科	１診		高瀬	川嶋	小林	担当医	髙瀬
	２診		中川	谷川	門馬(もんま)		
心臓血管外科				担当医			担当医(午後)
脳神経外科	１診		担当医	荒井	森下	担当医	荒井
	２診			松木	荒井		松木
乳腺外科	１診		石川	石川		石川	担当医
	２診		小林	担当医		小林	
整形外科	初診１診		青木	上藤	高山	西原	中川
	初診２診		高原		北山	神村	
	再診１診		【上藤】	中川	原田	【高山】	
	骨粗鬆症	午後	【上藤】		【北山】		
形成外科	１診		櫻井	交代制	櫻井	櫻井	櫻井
	２診		谷口		谷口	谷口	谷口
	３診		【金山】		【金山】	【金山】	【金山】
皮膚科	初診／予診		廣田	熊谷	熊谷／山田	山田	廣田
	１診		山田	川田	川田	足立	川田
	２診		熊谷	廣田	増田	増田	山田
眼科	１診		薄木	薄木			薄木
	２診		徳川	徳川	徳川		
	３診		秋田(第2・4)				
泌尿器科	１診		担当医	佐藤	田中	担当医	田中
	２診			大場			大場
放射線科	(IVR)		担当医		担当医		担当医
	(治療)		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医

予約受付時間　平日９：00～18：30　土曜日９：00～11：30（祝日除く）

※各科診療予定は変更される場合がありますので、あらかじめご了承願います。

※【　】は予約できませんが、特別に受診を希望される場合等は、ご連絡下さい。

お願い 患者さんの待ち時間短縮のため、FAXまたはインターネットで初診予約をお取り下さい。
インターネットで初診予約を行う場合は、登録医の登録をお願いします。

～地域医療連携部よりお知らせ～

12月２日（土）14時から16時
加古川市民会館にて県かこ県民フォーラム
“フレイル予防で健康寿命を延ばそう！”開催